

政策 04 都市機能と豊かな自然が調和した住みよい快適なまちづくり

施策 04 利便性の高い公共交通の確保



あるべき姿

公共交通が充実し、市民の移動手段が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標	市内の交通環境に満足している市民の割合（％）		対基準値 （低下）	指標値の注釈	
			【自治振興課】		
指標の動き	後期基準値	78.3		対前年度 （低下）	分析評価 利用者数は令和4年度に比べ大幅に改善し、多くの市民に利用いただいているが、公共交通に対し更なるサービスの拡充が求められていることが考えられます。
	R04実績	74.4			
	R05実績	73.4			
	R06実績				
	R07実績				
	R08実績				
	R08目標値	80.0	目標達成度 （低）		

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 持続性のある生活交通の確保と利用促進

指標	コミュニティバスの年間利用者数（人）		【自治振興課】	対基準値	指標値の注釈 業務取得
				☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	347,172		対前年度	分析 評価 新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となり、行動制限が緩和され、外出する方が増えたことにより、利用者が増えたものと考えられます。
	R04実績	437,500		☀️ (向上)	
	R05実績	476,214		☀️ (向上)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			☐ (高)	
	R08実績				
	R08目標値	500,000			

基本事業01 持続性のある生活交通の確保と利用促進

指標	デマンド交通における乗合型の利用率（％）		【自治振興課】	対基準値	指標値の注釈
				☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	20.5		対前年度	分析 評価 利用者のニーズに合ったこうした乗合タクシーの制度を引き続き周知したことにより、利用者が増加し、ひなちゃんタクシーの利用者の減少が図られたものと考えます。
	R04実績	32.6		☀️ (向上)	
	R05実績	34.2		☀️ (向上)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			☐ (達成)	
	R08実績				
	R08目標値	25.0			

基本事業01 持続性のある生活交通の確保と利用促進

指標	市運営・補助の公共交通における市民1人あたりの市負担額（円）		【自治振興課】	対基準値	指標値の注釈
				☔️ (低下)	
指標の動き	後期基準値	1,695		対前年度	分析 評価 乗合タクシーは、利用者増による収入が増え、委託料の削減が図られたが、フラワー号における燃料費の高騰等による運行経費の増加やひなちゃんタクシーのタクシー運賃値上げにより、市の負担額が増えたことによるものと考えられます。
	R04実績	1,819		☔️ (低下)	
	R05実績	1,825		☔️ (低下)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			☐ (低)	
	R08実績				
	R08目標値	1,732			

基本事業02 駅及び駅周辺の利便性の向上

指標	駅の利便性（バス、タクシー、送迎者への乗降等）に関する満足度（％）		【都市計画課】	対基準値	指標値の注釈
				☔️ (低下)	
指標の動き	後期基準値	79.0		対前年度	分析 評価 （状況）まちづくりアンケートによる数値は若干低下した。 （原因）市内の3駅の駅前広場の整備はおおむね完了し、利便性は向上していますが、特に大きい変化がないため低下したと考えられます。
	R04実績	74.2		☔️ (低下)	
	R05実績	72.2		☔️ (低下)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			☐ (低)	
	R08実績				
	R08目標値	80.0			